

かけはし 83

No.



CONTENTS

- | | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|-----|-----------------|---|---|---|-----|
| •病院長 新年のご挨拶 | … | … | (2) | •こたつとみかん | … | … | … | (6) |
| •折田元院長 退任のご挨拶 | … | … | (3) | •透析療法従事職員研修を終えて | … | … | … | (7) |
| •あまり知られていない麻酔の話 | … | … | (4) | •福山医学祭演題紹介 | … | … | … | (7) |
| •新入職員紹介 | … | … | (4) | •地域医療連携室だより | … | … | … | (7) |
| •感染管理認定看護師な日々 | … | … | (5) | •診療日程表 | … | … | … | (8) |
| •ハロウィンがやってきました | … | … | (5) | •編集後記 | … | … | … | (8) |
| •飛翔会だより:院内旅行 | … | … | (6) | | | | | |

日本医療機能評価機構認定病院

特定医療法人 財団竹政会



セントラル病院

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26

TEL.084-924-4141(代) FAX.084-924-8040

●ホームページアドレス <http://www.central-hp.or.jp/>

病院理念

私たちは、安全で良質な医療が提供できるよう最善を尽くし、地域の人々に信頼され愛される病院を目指します。



2024年 新年のご挨拶

病院長 高橋 健治

明けましておめでとうございます。2024年が始まりました。

昨年はウクライナだけではなく、パレスチナでも大惨事が起きました。ハマスの行為を『テロ』だとする見方もありますが、『レジスタンス』という捉え方も出来ます。パレスチナの少年達の投石にイスラエル軍が弾丸を撃ち返す行為は人道に反すると思います。また近頃の新聞やテレビではロシアなどを『権威主義国家』と呼んでいます。ロシア大統領プーチンは「西側諸国とは違う民主主義」だと主張していますが、それはすなわち「非民主主義」ではないでしょうか。ハッキリと『非民主主義国家』と呼べば国際問題になるので致し方ないことでしょうが、悲しいことに日本はこの『非民主主義国家』のロシア、中国、北朝鮮に囲まれています。国家安泰のために巨額の防衛費が費やされることに「やりきれなさ」を感じざるを得ません。

一方、国内情勢においても極端な円安が続き、恩恵よりも弊害を感じるのが一般庶民の感覚ではないでしょうか。色んな物の値段が上がり、上がらないのは給料だけと言う世帯が多いのではないでしょうか。官民一体で隈なく賃金のアップを実現して貰いたいと思います。

しかしその一方で、新型コロナがひとまず落ち着き、以前のようにコンサートや旅行に出かけたりといった文化的な生活を取り戻せつつあります。また今年もMLBでは大谷選手の活躍が見られるでしょうし、7月にはパリオリンピックが開催されます。幕末から明治維新の頃と比べれば左程ではありませんが、激動の日々に対応していくなければならなくなってしまった私達の2024年はどのような年になるのでしょうか？不安でもあり、楽しみもあります。

今年もセントラル病院は皆様が安心して健康的な生活が送れますように最適な医療を提供していきたいと思います。今年が皆様にとって良い年でありますように心よりお祈り申し上げます。



『感謝』

折田 洋二郎

私が中国中央病院から病院長として赴任しましたのは、平成16年5月1日です。

病院長として、最初に行ったことは「病院機能評価」を受けることでした。そのために、いくつもの委員会を立ち上げ、実績を積み重ねました。数回の機能評価機構の審査を受け、3年目に合格の判定がおりました。(現在福山の病院機構認定病院は15です。)

一方臨床は、主として乳腺・甲状腺疾患の診断と治療で、専門外来診療を開始しました。セントラル病院では新しい診療科目でしたが、職員の皆様や患者様に恵まれ、昨年10月30日まで勤務することができました。

振り返れば前任病院で、まだ乳癌がさほど多くなかった頃に診療に取り組み始めました。患者様は徐々に増加し、術後患者が増えたこともあり、平成5年(1993)福山で最初に中国中央病院で、QOL輪唱『アンダンテ』という患者様と医療者の会を作りました。また、福山で乳癌を専門とする医師同士の勉強会である『福乳会』の立ち上げにも参画しました。『福乳会』は、現在も医師や医療従事者により受け継がれています。

セントラル病院での思い出は多々あります。還暦や古希など思いもよらぬお祝いをして頂いたこと、腰椎骨折で再起が難しかったと危ぶまれたときに皆さんに支えて頂いて、職場復帰ができた日のことなど悲喜こもごもですが、中でも退職の日、壁一面に飾られた院内行事や職場での皆さんとのスナップ写真の数々には、とても感激しました。皆さんから頂いた寄せ書きのアルバムや七転び八起きの“だるま”など私の宝物として大切にしたいと思います。

最後に、理事長はじめ諸先生方、看護師の皆様、コメディカルの皆様、事務職の皆様、色々とありがとうございました。そして、皆様と地域医療に貢献できしたこと、これが私の一番の誇りです。

年頭にあたり、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



Column & Topics



あまり知られていない麻酔の話

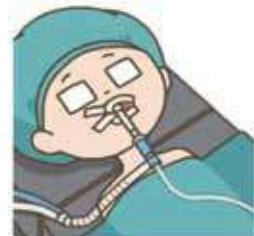
麻酔科 横尾 千加子

麻酔は手術を痛みなく行うために必要不可欠なものです、あまり実情を知らない方も多いのではないでしょうか。

麻酔には大きく分けて全身麻酔(脳を麻痺させて眠らせる麻酔)と局所麻酔(身体の一部分のみを麻痺させて眠らない麻酔)があります。両者を組み合わせて行うこともあります。局所麻酔には、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、伝達麻酔、局所浸潤麻酔などがあり、手術の内容や患者様の全身状態や希望などを踏まえて、一人ひとりに適切な麻酔方法を選択します。

よく内視鏡検査(胃カメラや大腸カメラ)をしたときに“全身麻酔をしました”と言われますが、内視鏡検査で行われているのは鎮静で、全身麻酔とは異なります。

全身麻酔は、意識・記憶・全身の痛みがない状態を意味しており、気管挿管・人工呼吸などの呼吸管理が必要になります。ドラマで見る手術の光景です。それに対して鎮静は、鎮静剤を投与して神経の興奮を鎮めるので、体は痛みに反応します(ほとんどの人は覚えていません)。



【麻酔の三要素】

麻酔には鎮静(意識をとる)、鎮痛(痛みをとる)、筋弛緩(筋肉をゆるめる)という三要素が必要です。これらをバランス良くコントロールすることで、患者様の不快感をなくして手術を行いやすくすることを目的としています。

術中に適切な麻酔管理を行うことで術後の回復が早まることが証明されています。

麻酔それ自体が100%安全とは言えないですが、麻酔なしに安全に手術を行うことは不可能です。そして安全な麻酔・手術を行うためには患者様ご本人の協力が必要です。例えば、指示された絶飲食時間を守る、手術することが決まったら禁煙する、マニキュアは落としておく、ぐらぐらする歯は歯科治療を受けておくなどです。

麻酔に関して心配なこと、不明なことがあればご相談ください。



新入職員紹介 頑張ってください!!



看護師

金光 景子

9月より勤務させて頂いております。

至らない点も多々あると思いますが、ご指導の程、何とぞよろしくお願い致します。



看護師

永吉 貴子

10月から外来に勤務させて頂いています。患者様に寄り添えるよう心がけ笑顔と挨拶を欠かさず接していくたいと思います。よろしくお願い致します。



管理栄養士

智葉 生夏映

10月より勤務させて頂いております。医療業界は初めてで慣れないことが多いですが、早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

感染管理認定看護師な日々

感染管理認定看護師 恵谷 和郎

あけましておめでとうございます。そしてコロナ禍も、あけましておめでとうございます。

世界的なコロナ感染症の流行もあり、事業継続計画(BCP:Business Continuity Planning)の必要性が注目されています。介護事業所では、今年の4月までに策定が義務付けられています。事業資産の損害を最小限に留めつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能するために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。医療・介護事業が停止すると、患者利用者だけではなく、家族等の生活もままならなくなり、芋づる式に社会機能は低下します。これは防がなくてはなりません。

昭和の時代とは違い、現在は情報伝達の複雑化・高速化等あり、気合と根性では切り抜けることができなくなりました。コロナ感染症で明るみに出たのです。「備えあれば憂いなし」と言いますが、不十分でした。緊急事態はいつも想定外ですので、気合と根性では対応できません。日々の訓練とBCPの維持更新・文化の定着が必要だったのです。「備えだけでは憂うしかなかった」のです。

憂うとは「心配し、嘆き悲しむこと」とされます。個人的に好きではない言葉です。心配してもなにも解決しません。考えて、答えや解決策を導き出さなければなりません。BCPも、備えだけでは憂うしかありません。BCPに関する訓練と、文化の定着が今後の課題となりそうです。



イラスト:アヤコイシ☆

ハロウインがやってきました

看護部長 奥永 恵美



昨年の10月31日、当財団のわくわく託児所の子供たちがミニマリオに仮装して、セントラル病院の病棟へ訪問してくれました。コロナ禍前には仮装をして病院訪問ができていましたが、ここ数年は中止していました。今年はやってきました。

月齢が小さい子供たちは乳母車に乗って、お兄ちゃんやお姉ちゃん達は仮装した保育士さん達と一緒に手をつないでやってきました。外来ロビーを通った時には、外来患者さんから「可愛いね！」と歓声が沸きました。その後に病棟訪問して、可愛さをたくさん振り撒き、入院患者さんから一人ずつお菓子をもらって大満足していました。働くお母さんを見つけると嬉しくなったり、泣き出したりする子供達もいましたが、楽しそうにしている姿を見て、こちらも元気をもらいました。

いつも楽しい行事や手作りで素敵な衣装を子供達に着させてくれる託児所の皆さんに感謝をしています。



Topics



飛翔会だより 院内旅行

[和歌山]

飛翔会 看護師 松岡 未紗

コロナ禍で中止になっていた飛翔会の院内旅行ですが、昨年より院内旅行が再開となりました。10月8、9日に和歌山へ1泊旅行に行ってきました。

2日間あいにくの雨でしたがアドベンチャーワールド、三段壁・千畳敷、グラスボートなど多彩な催しの中で、参加者は和気あいあいと旅行の楽しさを味わいながら親睦を深めました。日本三古湯の1つ「白浜温泉」を宿で堪能し、心身を癒すことができました。

参加者の中には旅行前より「パンダに会いたい」と楽しみにしている声も聞かれ当日のアドベンチャーワールドでは参加者のほとんどがパンダグッズを購入し、大人から子供まで旅行を堪能する事ができました。



[三朝]

飛翔会 事務 帯刀 康男

昨年11月、実に4年ぶりの院内旅行で鳥取県の三朝温泉に行ってきました。午前中は霧が出ていましたが、お昼頃からは雲一つない良い天気に恵まれ最高の旅行日和だったと思います。

最初にアニメの名探偵コナンで有名な青山剛昌ふるさと館を訪れました。コナン駅やコナン大橋、コナンの家等々、町全体がコナンで町おこしをしており、キャラクターの像が道沿いに並んでいました。

次にメインの三朝温泉へ移動して昼食、お昼は漁が解禁されたばかりの松葉蟹をたっぷり使った会席料理でした。力二鍋のメの雑炊が、出汁がたっぷり染み出でてまさに絶品でした。力尽くしごちそうでお腹いっぱいになった後、足湯に行こうかと思っていましたが通常の温泉も入れるとの事でしたので、せっかくなので温泉を頂く事にしました。雲一つない青空を見上げながら露天風呂に浸かり、とても気持ちよかったです。皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



こたつとみかん

栄養管理科 上本 知佳

こたつの上にみかんが置いてある光景は、冬になると多くの家でよく見ることと思います。こたつが一般家庭に普及し、みかんの生産量が増えた明治以降から、この組み合わせが生まれたそうです。みかんにはビタミンが多く、風邪を引きやすい冬にはぴったりの果物です。

また、こたつで温まって汗をかき、気づかない内に脱水となった体にはみかんは良い水分補給にもなります。脱水を予防するためには、こまめに水分補給をすることが必要です。手軽に食べられるみかんは、少しずつ水分補給ができる、こたつの良き相棒と言えるでしょう。

近年は甘いみかんの品種が増えていますが、甘いものはカロリーも多いです。ほどよく酸味のある「温州みかん」、「バレンシアオレンジ」、「はっさく」がおすすめです。食べ過ぎると血糖値上昇や体重増加にも繋がるので、「温州みかん」だと1日3~4個程度が目安です。水分とビタミンをしっかり摂って、元気に冬を楽しんでください！



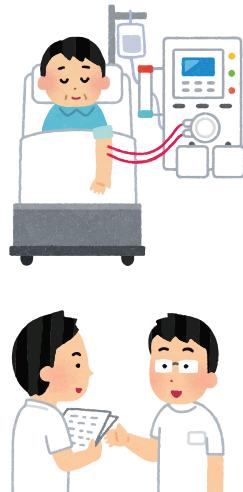
透析療法従事職員研修を終えて

ME科 龜田 恭典

私は当院で働き始めて、この4月で4年目を迎えます。主に透析療法に携わっており、上司、先輩からの教育や、自己学習で透析に関する専門知識、技術の習得に励んできました。その甲斐あって、多少は透析室で職務を全うできるようになってきたように思います。しかし、まだまだ力不足を感じることが多い中、後輩もでき見本となるべき立場になりました。

そこで今回、日本腎臓財団が主催する「透析療法従事職員研修」を受けてきました。この研修は座学と実習があります。座学では、これまでの考え方や知識を振り返ることができ、より理解を深めることができました。実習では10日間、岡山の重井医学研究所附属病院にて研修を行うことで手技の振り返りができ、新たな知見も得ることができましたが、今になって考えると、他院の臨床工学技士の働き方を観察することができたのが一番の収穫だったと思います。当院の透析室で同期のいない私にとって同年代のレベルを観察することで自分のレベルを客観視でき、とても良い機会になりました。

きたる4年目では、今回の研修で学んだこと、得た刺激をもとに、より透析室で患者様に貢献できるよう努めていこうと思います。よろしくお願いします。



第27回 福山医学祭

令和5年11月12日(日) 福山市医師会館

演題紹介

- ・褥瘡ケアカンファレンス実施による病棟看護師の意識変化

～褥瘡治癒過程の理解とアセスメントの重要さを認識して～

看護部 ○近藤 那奈、山本 洋江、川崎 忍



地域医療連携室だより



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年は新型コロナも5類へ移行となり、行動制限も緩和され以前の生活を取り戻しつつ活気も始め、皆様も前年とはちょっと違うお正月を迎えたでしょうか。

私事ですが、昨年5月より地域連携室・訪問看護部へ異動となり、新たなチャレンジが始まり新鮮な気持ちで看護に取り組むことになったことが大きな変化でした。病院で接していた患者様の状態とは違い、意欲的に自宅生活されている姿には驚かされ、その大切さを教えていただきました。

今までと違うことばかりで躊躇戸惑うことが多いのですが、周囲の方々のお力添えのおかげで業務に取り組むことができました。まだまだ力不足ではありますが一つ一つ習得していくつもりです。

今年も引き続き、地域連携室として患者様に寄り添った支援に努め、病院・診療所・介護施設の方々と連携してまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

(訪問看護師 牧野 芳子)

地域医療連携室

看護師

小寺 美子・前田 育江
高橋喜世美・牧野 芳子

社会福祉士／
精神保健福祉士

小林 道子

Topics

〈セントラル病院診療日程表〉

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	竹政	竹政	後藤	竹政	竹政
	午後	16時30分～ スポーツ外来のみ	手術 川大整形	16時00分～ 一般外来 スポーツ外来	手術 川大整形	—
外 科	午前	高橋	竹原	湯浅	高橋	竹原
	午後	—	乳腺 湯浅	—	—	—
内 科	午前	—	甲状腺 竹原	—	乳腺甲状腺 岩本	—
	午後	太田(10時～)	—	太田(10時～)	—	太田(10時～)
検 査	午前	川合	岡本	川合	岡本	佐藤
	午後	渡辺	渡辺	渡辺	北村	渡辺
胃カメラ	岡本／北村	川合／笹平	岡本／高橋	井上／竹原	川合／北村	担当医
	大腸カメラ	岡本	北村	川合	岡本	北村

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来:月・水16時30分～)
後藤 峰範
田辺 滋樹

(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
河本 豊広

外 科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
湯浅 吉夫 (総合診療外科)
竹原 寛樹 (消化器外科)
岩本 高行 (乳腺内分泌外科)

内 科

渡辺 康典 (呼吸器内科)
岡本 康 (消化器内科)
川合 幸延 (消化器内科)
北村 悟 (消化器内科)
浜井 千香 (内科)
太田 浩子 (内科)
井上 和彦 (消化器内科)
濱田 礼子 (内科)
立本 修二 (内科)
佐藤 拓史 (内科)

麻酔科

横尾 千加子

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。
お気軽にお問合せ下さい。

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午前: 8:30～12:00

診察時間 午前: 9:00～12:30

午後: 13:30～17:00

午後: 14:00～17:30

※土曜日は12:00までの受付です。

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26

代表TEL:084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472

代表FAX:084-924-8040 FAX:084-920-9278

編集後記



新年あけましておめでとうございます。

皆様お正月はいかがお過ごしましたか?新型コロナウィルスも少し落ち着き、今年は久しぶりに賑やかに過ごされた方も多いかと思います。私も今年こそは何か健康的な趣味を見つけて、すっかり鈍った体を動かしたいと思います。

2024年も皆様にとって健康で明るい一年になりますように。

広報委員 検査科 草光 貴子

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中核
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会
セントラル病院
発行責任者 院長 高橋 健治